東都バスの全従業員諸君！斯る国賊内敵分子に依って指導さるゝ事を衷心希求して居るのが彼等のスローガン指導精神に衷心賛成であるのか我等は信ずる否断じて否であると唯諸君が生活条件改善斗争の一点に於て健達せる彼等の戦術を借るに至った事は想像に難くない然し乍ら生活条件の改善は斯る売国的分子に據らずして日本主義導義斗争の下に於てこそ最も効果的に貫徹せらる、ものである況んや彼等は過去に於て「ダラ幹」の刻印を押されたる札付の争議ブローカーであってそろく其の本性を表はしつゝあるのである　諸君は今後彼等が資本家との交渉の取引に対しては萬全の警戒を怠ってはならない会社の頑迷横暴素より断乎として討たなくてはならない然も赤賊は尚を以て殲滅せなくてはならないのだ彼等赤賊の指導に本争議を進むる事は日本人の血の流れてゐる諸君の潔よしとする所であるが甚しきは正に日本国民の矜持に於て最大の恥辱でなくてはならない之れは諸君が当初より既に幾割かの不利を負せるものであって市民大衆の同情は此の一点に依って失はれつゝあるのだ

東都バスの全従業員諸君！事理は極めて明白だ断乎として即時彼等と手を切り決然として自主的道義斗争に蹶ち上れ団結の圧力を以て会社に肉迫し要求貫徹に一歩も譲らず斗ひ抜け其の事は却って市民大衆の同情を翕然と集め解決は促進さるゝであらう

我等素より労資双方に毫末の私怨もない唯々日本国民の熱血に於て止まず一片耿々を批述し至公至正以って訴ふるもの、既に頑迷なる会社に対しては速かに要求を容認し解決を図らんことを警告した更に我等微力なりと雖も右の精神より協合に依っては献身応援調停を辞せざる事を茲に附言する

右熱涙以って警告する次才である

昭和十一年九月十七日

東都バス争議団　従業員御中

大日本生産党城北支部

別記十六

▽東都バス従業員諸君に檄す△

亡国的資本家の圧制と低賃金の値上と労働強化絶対反対を叫び待遇改善を要求して居る従業員諸君は君達の争議を指導し解決の衝に当ってゐる左翼ボス幹其の思想と人格に就て厳粛なる検討批判をなさねばならぬ

即ち光輝ある我が国体を冒涜蹂躙し皇国同抱をソ聯共産党に売渡す所謂人民戦線を結成し此の赤化亡国戦線の名によって純真なる正しい君達の争議を反皇国体方面に指導す且つ争議を故意に行詰らせ而して君達労働者に向っては巧妙なる言辞を弄して味方ぶって居るのが今の君達の指導者なのだ

君達はこう云ふ事情を知って居るのか君達の味方指導者だと称する人々が現に資本家の談合金の取引に浮身をやつし君達の決死的要求条件の解決を阻害して居るのではないか之正に資本家にも増して憎むべき吸血鬼的ブローカーでなくてなんであらう　最近資本家に面談したる社大系ボス幹は「この争議を出来るだけ長引かせてもらいたい長引かせる事によって勘十派の亡国戦線を徹底的に警察に弾圧させそれて労働者の方は俺がどうにでもするし又資本家様には悪い様にはしない積りだ当分解決しないで貰いたい」ともう一人東交派のダラ幹曰く